

令和6年度 第1回教育課程編成委員会

令和6年7月18日(木)10:00～12:00
国際園芸アカデミー 研修室A

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 検討事項

(1) 令和5年度カリキュラムの実施状況について

・カリキュラムについて（編成図）

…資料1

・令和5年度 開講科目一覧

…資料2

・令和5年度後期 授業評価アンケート結果

…資料3

・分野別授業の実施状況

① 課題解決分野：卒業研究・卒業制作

（花き生産コース）

…資料4-①

（花き装飾コース）

…資料4-②

（造園緑化コース）

…資料4-③

② マネージメント分野：植物ビジネス論

…資料4-④

(2) 国際園芸アカデミー実践教育フィールドの開設及び

…資料5-①

令和6年度 ぎふワールド・ローズガーデンを活用した授業について…資料5-②

(3) 業界の動向及び求める人材について（意見交換）

…資料6

5 授業見学

1 学年「造園施工・管理実習Ⅰ」

2 学年「フューネラル実習」

6 閉会

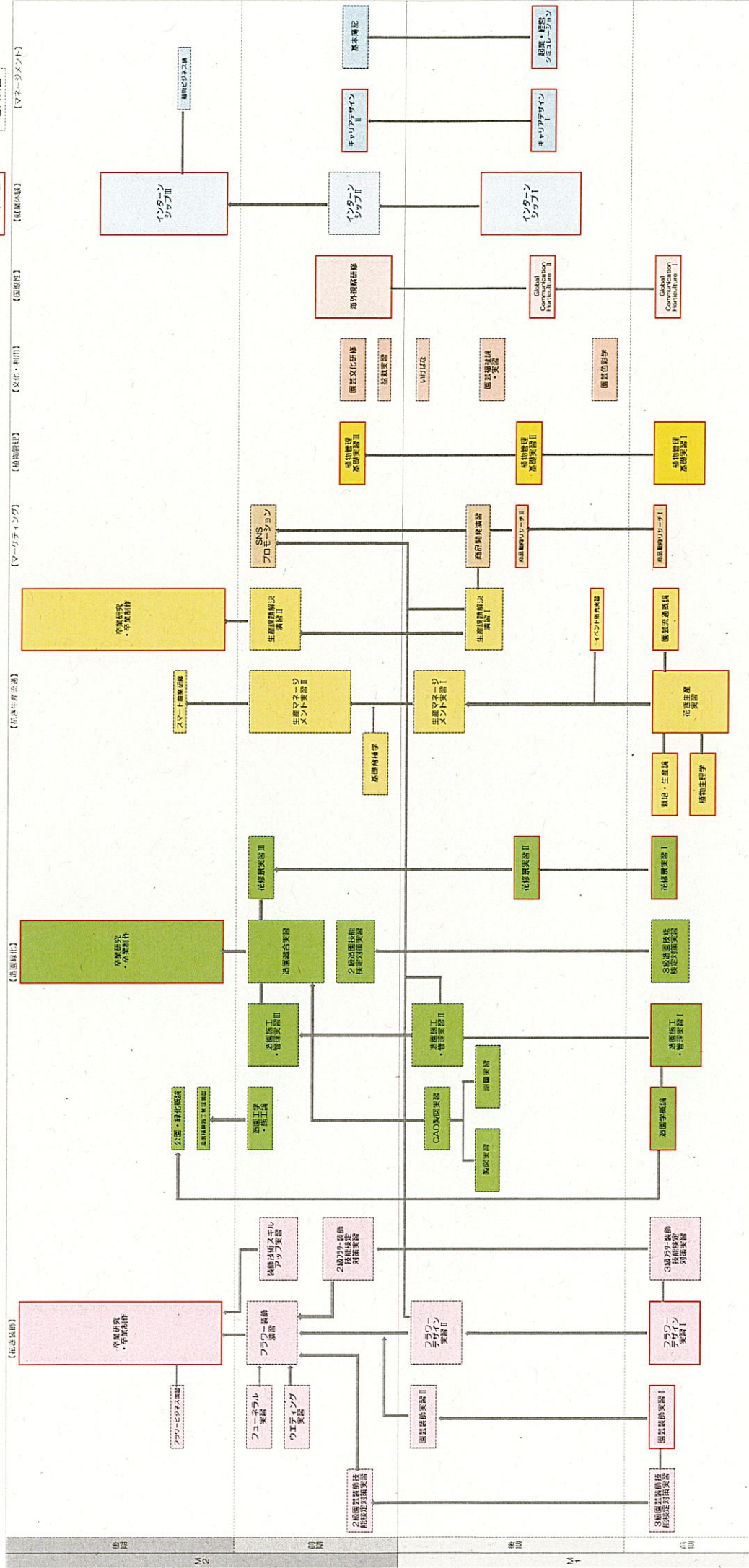
令和6年度 第1回 国際園芸アカデミー 教育課程編成委員会 委員名簿

	分 野	所 属 ・ 役 職	氏 名	備 考
委員長	教職員	岐阜県立国際園芸アカデミー 学長	今西 良共	
委員	学識経験者	岐阜大学応用生物科学部 副学部長	山田 邦夫	
委員	花き生産業界(切花)	ユーティローズ 代表者	宇野 充辰	(欠席)
委員	花き生産業界(鉢花)	(有)セントラル ローズ 代表取締役	大西 裕	
委員	花き装飾業界	クニイ園芸	國井 理佐	Zoom出席
委員	造園緑化業界	昭和造園土木株式会社 代表取締役	日比 真一	
委員	流通業界	名古屋園芸株式会社 代表取締役	小笠原 誓	Zoom出席
委員	行政機関	岐阜県農政部 農産園芸課長	宮田 和也	
委員	教職員	岐阜県立国際園芸アカデミー 教授	臼田 浩通	
委員	教職員	岐阜県立国際園芸アカデミー 教授	相田 明	

<事務局>

役 職	氏 名
岐阜県立国際園芸アカデミー 副学長	井戸 誠二
岐阜県立国際園芸アカデミー 准教授 <花き装飾コース>	林 誠
岐阜県立国際園芸アカデミー 准教授 <マネージメント>	佐藤 智茂
岐阜県立国際園芸アカデミー 教務課長	山本 芳範
岐阜県立国際園芸アカデミー 教務係長	伊藤 美由紀

花き生産コース カリキュラム構成図（標準）



令和5年度 開講科目一覧

資料 2

○ マイスター科 1年 (前期) 開講科目

No.	分野	区分	見直し	科 目 名	担当教員	時間数
1	花き生産流通	必修		栽培・生産論	白田	30
2	花き生産流通	必修		植物生理学	前田	30
3	花き生産流通	必修		花き生産実習	白田	90
4	花き生産流通	必修		園芸流通概論	井上	30
5	花き装飾	必修		園芸装飾実習 I	吉田	30
6	花き装飾	必修		フラワーデザイン実習 I	林	60
7	花き装飾	選択	新	3級園芸装飾技能検定対策実習	林	30
8	花き装飾	選択		3級フラワー装飾技能検定対策実習	安保	60
9	造園緑化	必修		造園学概論	相田	30
10	造園緑化	必修		花修景実習 I	相田	30
11	造園緑化	必修		造園施工・管理実習 I	新井	60
12	造園緑化	選択	組換え	3級造園技能検定対策実習	新井	45
13	マーケティング	必修	組換え	商品動向リサーチ I	井上	15
14	植物管理	必修		植物管理基礎実習 I	前田	60
15	国際性	必修		Global Communication in Horticulture I	大脇	30

必修	495
選択	135

○ マイスター科 1年 (後期) 開講科目

No.	分野	区分	見直し	科 目 名	担当教員	時間数
16	花き生産流通	必修	組換え	イベント販売実習	井上	15
17	花き生産流通	選択	組換え	生産マネージメント実習 I	白田	60
18	花き生産流通	選択	組換え	生産課題解決演習 I	白田	45
19	花き装飾	選択		園芸装飾実習 II	吉田	30
20	花き装飾	選択		フラワーデザイン実習 II	林	60
21	造園緑化	必修		花修景実習 II	相田	30
22	造園緑化	選択		造園施工・管理実習 II	新井	60
23	造園緑化	選択	組換え	測量実習	新井	30
24	造園緑化	選択	組換え	製図実習	新井	30
25	造園緑化	選択		CAD製図実習	相田	30
26	マーケティング	必修	組換え	商品動向リサーチ II	井上	15
27	マーケティング	選択	新	商品開発演習	井上	30
28	マネージメント	必修		キャリアデザイン I	佐藤	30
29	マネージメント	必修		起業・経営シミュレーション	佐藤	30
30	文化・利用	選択		園芸色彩学	相田	30
31	文化・利用	選択	組換え	いけばな	片倉	15
32	文化・利用	選択		園芸福祉論・実習	相田	30
33	植物管理	必修		植物管理基礎実習 II	前田	30
34	国際性	必修		Global Communication in Horticulture II	大脇	30
35	就業体験	必修		インターンシップ I	各コース担当教員	120

必修	300
選択	450

○マイスター科 2年（前期）開講科目

No.	分野	区分	見直し	科 目 名	担当教員	時間数
1	花き生産流通	選択	組換え	生産・マネージメント実習Ⅱ	白田	120
2	花き生産流通	選択	組換え	生産課題解決演習Ⅱ	白田	60
3	花き生産流通	選択		基礎育種学	前田	30
4	花き装飾	選択	組換え	フラワー装飾演習	林	60
5	花き装飾	選択	組換え	ウェディング実習	林	30
6	花き装飾	選択	組換え	フューネラル実習	林	30
7	花き装飾	選択	新	装飾技術スキルアップ実習	吉田	45
8	花き装飾	選択	新	2級園芸装飾技能検定対策実習	林	30
9	花き装飾	選択	組換え	2級フラワー装飾技能検定対策実習	吉田	60
10	造園緑化	選択		花修景実習Ⅲ	新井	30
11	造園緑化	選択		造園施工・管理実習Ⅲ	新井	60
12	造園緑化	選択	組換え	造園総合実習	新井	90
13	造園緑化	選択	組換え	2級造園技能検定対策実習	新井	45
14	造園緑化	選択		造園工学・施工論	新井	30
15	マネージメント	選択		SNSプロモーション	井上	30
16	マネージメント	必修		キャリアデザインⅡ	佐藤	30
17	マネージメント	選択	組換え	基本簿記	佐藤	30
18	文化・利用	選択		園芸文化研修	今西	30
19	文化・利用	選択	組換え	盆栽実習	福本	15
20	植物管理	必修		植物管理基礎実習Ⅲ	前田	30
21	国際性	必修		海外視察研修	吉田	90
22	就業体験	選択		インターンシップⅡ	各コース担当教員	60

必修	150
選択	885

○マイスター科 2年（後期）開講科目

No.	分野	区分	見直し	科 目 名	担当教員	時間数
23	花き生産流通	選択	新	スマート農業研修	白田	15
24	花き装飾	選択	新	フラワービジネス演習	吉田	15
25	造園緑化	選択	新	造園積算・施工管理演習	新井	15
26	造園緑化	選択	組換え	公園・緑化概論	今西	15
27	マネージメント	選択	新	植物ビジネス論	井上	15
28	就業体験	必修		インターンシップⅢ	各コース担当教員	150
29				卒業研究・卒業制作(花き生産コース)	白田	240
30	課題解決	必修	組換え	卒業研究・卒業制作(花き装飾コース)	吉田	
31				卒業研究・卒業制作(造園緑化コース)	相田	

必修	390
選択	75

令和5年度後期 授業評価アンケート結果

今後の授業をより良くするため、アンケート記入を学生に依頼し、令和6年2月に実施。
アンケート項目は以下の3項目を設定し、授業を振り返り、記入してもらった。

1 目標達成度

シラバスに記載されている、授業ごとに複数設定される到達目標(※)に対して、学生が
どれだけ習得できたかを自己評価したもの。

※到達目標は、1つの授業に対して最大4つまで設定。

S:完全に習得できた・A:十分に習得できた・B:習得できた・C:概ね習得できた・D:習得できなかった
の5段階で到達目標毎に自身の到達度評価を実施。

集計時は、[S=95、A=85、B=75、C=65、D=55]の代表値に置換え、学生個人の『到達度』を算出

2 授業満足度

下記の観点から学生が総合的に判断した満足度。

- ・授業のテーマは明確に示されていたか
- ・授業の難易度は適切であったか
- ・教科書や配布資料、パワーポイントなど理解できるものであったか
- ・質問や相談ができるように配慮されていたか
- ・授業を通して、新しい知識や技術を得られたか

4 十分満足 ・ 3 満 足 ・ 2 普 通 ・ 1 不 満 の4段階で選択

3 授業へのコメント

各授業に対する自由記載のコメント。良かった点、改善した方がよい点、授業の感想、意見等。

【結果】

1 目標達成度 科目別の到達度総平均の分布

開講授業	S (完全に習得できた) 到達度総平均 90以上	A (十分に習得できた) 到達度総平均 80以上90未満	B (習得できた) 到達度総平均 70以上80未満	C (概ね習得できた)	D (習得できなかった)
M1(20科目)	0	20	0	0	0
M2(9科目)	2	6	1	0	0

2 授業満足度 科目別の満足度平均の分布

開講授業	4(十分満足) 授業満足度平均 4	3(満足) 授業満足度平均 3以上4未満	2(普通) 授業満足度平均 2以上3未満	1(不満)
M1(20科目)	1	18	1	0
M2(9科目)	1	8	0	0

3 授業へのコメント

開講授業	学生からのコメント数(延べ)
M1(20科目)	496
M2(9科目)	78

令和5年度 後期授業評価アンケート結果 (M1)

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		授業満足度平均	
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
1	イベント販売実習	必修	花き生産流通	15	井上	22	商品企画、商品開発、販売、分析の一連の活動を理解する。	86.8	商品ディスプレイ、POP作成など、イベント販売における店舗デザインを学ぶ。	87.7	接客時における接客マナーを実践的に体得する。	89.5	イベントにおける接客マナーを実践的に体得する。	85.5	87.4	3.7
2	生産マネジメント実習Ⅰ	選択	花き生産流通	60	臼田	3	施設設計や品目、品種設定ができる。	81.7	温室の栽培管理ができる。	85.0	チームワークの重要性を理解する。	95.0	チームワークの重要性を理解すること、改善することができる。	85.0	86.7	3.3
3	生産課題解決演習Ⅰ	選択	花き生産流通	45	臼田	3	適切な課題研究テーマと調査内容を選取できる。	91.7	課題研究を通じて課題解決力を身につける。	91.7	課題研究内容を総括し、正しく伝えることができる。	85.0	課題研究内容を総括し、正しく伝えることができる。		89.4	4.0
4	園芸装飾実習Ⅱ	選択	花き装飾	30	吉田	18	林から春にかけての植物の管理方法を理解する。	84.4	パルコニー・プランター・ハンギング・バスケットの開花調整、メンテナンス方法を習得する。	86.7	室内園芸装飾作品における基本的テクニックの習得をする。	83.3	デザイン～施工～植物管理～撤去を、グループで行う事でコミュニケーション力と協調性を習得する。	90.6	85.0	3.2
5	フラワーデザイン実習Ⅱ	選択	花き装飾	60	林	13	自ら花材を選びイメージを形にできる。	82.7	季節の商品が制作できる。	86.5	花に関わる季節行事を知る。	90.4	花に関わる季節行事を知る。		86.5	3.6
6	花修景実習Ⅱ	必修	造園緑化	30	相田	22	植物の植栽管理を通じて、継続的に記録することができる。	85.0	花壇の計画ができる。	86.9	一年草、球根、宿根草、樹木などの名前や管理方法を理解することができきる。	81.2	名前や管理方法を理解することができきる。		84.4	3.0
7	造園施工・管理実習Ⅱ	選択	造園緑化	60	新井	7	造園植物（樹木、下草、芝生など）の生育特性を踏まえた管理方法を習得する。	87.9	造園施設（原石、延べ段など）の施工方法を習得する。	89.3	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。	90.7	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。		89.3	3.7
8	測量実習	選択	造園緑化	30	新井	6	測量機器の操作方法、測量データの整理方法を習得する。	90.0	平面図、水準測量、地形測量の技術を習得する。	86.7	設計図から現場に位置出しができ、丁張を設置することができきる。	85.0	設計図から現場に位置出しができ、丁張を設置することができきる。		87.3	3.3
9	製図実習	選択	造園緑化	30	新井	7	造園に関わる基本的な設計・図面に關する事項を理解できる。	89.3	平面図や立面図など造園に関わる図面を描ける。	87.9	スケール感を身につける。	87.9	スケール感を身につける。		88.3	3.4
10	CAD製図実習	選択	造園緑化	30	相田	7	CADによる2D図面が作成できる。	89.3	CADによる3D図面が作成できる。	87.9					88.6	3.0
11	商品動向リサーチⅡ	必修	マーケティング	15	井上	22	秋冬期、上位150品目について、学名や産地や特徴や管理方法を理解する。	80.9	MSエクセルを使った画像情報を含むデジタルデータベースを完成する。	90.0					85.5	3.4
12	商品開発演習	選択	マーケティング	30	井上	5	園芸業界での商品開発の実態を知る。	87.0	SWOT分析ができる。	93.0	学校での学習活動の中から、アイディアを見つけ商品開発に挑戦する。	87.0	学校での学習活動の中から、アイディアを見つけ商品開発に挑戦する。		89.0	3.8
13	キャリアデザインⅠ	必修	マネジメント	30	佐藤	22	自身の現在の『社会人基礎力』を知り、伸ばす努力を怠るようにな	85.9	自らの勤務観や職業観を養う。	85.0	企業、組織の経営について、経営学の基本的な理論を用いて考えることができる。				85.5	3.3
14	起業・経営シミュレーション	必修	マネジメント	30	佐藤	22	経営学の基本的な知識を習得する。	85.0	企業、組織の経営について、経営学の基本的な理論を用いて考えることができる。	83.6					84.3	3.3
15	園芸色彩学	選択	文化・利用	30	相田	20	色彩学の基本的な知識と花と緑における色彩について理解する。	85.5	花き装飾における色彩について理解する。	85.0	造園緑化における色彩について理解する。	83.0	造園緑化における色彩について理解する。		84.5	3.3
16	いけばな	選択	文化・利用	15	片倉	13	いけばなの歴史を知る。	85.0	いけばなの基本的な実践を習得する。	85.8					85.4	3.2
17	園芸福祉論・実習	選択	文化・利用	30	相田	15	福祉施設における園芸福祉プログラムを立案することができる。	81.7	ハーブを取り入れた園芸福祉プログラムを立案することができる。	81.7	地域における園芸福祉プログラムを立案することができる。	82.3	地域における園芸福祉プログラムを立案することができる。		81.9	2.9
18	植物管理基礎実習Ⅱ	必修	植物管理	30	前田	22	秋・冬期における植物の種類による管理方法を理解する。	87.7	秋・冬期における灌水技術を習得する。	87.7	秋・冬期における温室の管理技術を習得する。	87.7	秋・冬期における温室の管理技術を習得する。		87.7	3.5
19	Orchard Communication in Horticulture II	必修	国際性	30	大脇	22	他国での基本的な食生活を知る。	80.9	イギリスの文化、風習を知る。	83.2	自分の専攻分野やその内容、日本の園芸文化について英語で情報発信できる。	79.5	自分の専攻分野やその内容、日本の園芸文化について英語で情報発信できる。		81.2	3.3
20	インターンシップⅠ	必修	就業体験	120	各担当教員	22	社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を習得する。	88.2	研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。	89.5	研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。	89.1	研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。		88.9	3.8

令和5年度後期授業評価アンケート結果 (M2)

No.	授業名	履修 区分	分野	時間数	担当 教員	受講 者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度 総平均	授業 満足度平 均
							目標	到達度 平均	目標	到達度 平均	目標	到達度 平均	目標	到達度 平均		
1	スマート農業研修	選択	花き生産流通	15	白田	5	スマート農業の基本的知識を習得する。	89.0	施設園芸の環境制御の基礎知識を習得する。	87.0					88.0	3.4
2	フラワービジネス演習	選択	花き装飾	15	吉田	9	花のビジネスモデルを知る。	88.3	フラワービジネスにおけるコスト、マーケティングについて理解する。	87.2					87.8	3.8
3	造園植算・施工管理実習	選択	造園緑化	15	新井	7	造園工事に関する基礎知識と設計積算、見積、施工管理（出来形、出来高、品質管理、写真管理）を理解し、積算、見積り、現場施工管理ができるようになる。	75.0							75.0	3.0
4	公園・緑化概論	選択	造園緑化	15	今西	9	都市公園・都市緑化に関する基本法令、制度についての基礎知識を習得する。	82.5	都市環境の改善及び都市の防災性の向上等、今日の都市が直面している課題の解決に資する都市公園・緑化のあり方、都市公園における適切な維持管理等について知識や知見を習得する。	86.3					84.4	3.4
5	植物ビジネス論	選択	マネージメント	15	井上	9	各分野の最新の事例や先進な取り組みを理解する。	90.6	専門分野に個々の深い講師と人的ネットワークを構築する。	90.6					90.6	3.4
6	インターンシップⅢ	必修	就業体験	150		20	社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を知り実践できる。	88.5	受入れ企業の事業活動を理解し、研修で得た気づきや学びを振り返る力を習得する。	89.5	研修内容を取りまとめ、報告することができる。				88.5	3.6
7	卒業研究・卒業制作 （花き生産コース）	必修	課題解決		白田	5	個別課題のテーマを設定することができ る。	85.0	調査・研究を行うことができる。	81.0	調査・研究結果の内容をまとめること ができる。	81.0	論文要旨を発表することができる。		82.0	3.0
8	卒業研究・卒業制作 （花き装飾コース）	必修	課題解決	240	吉田	7	各自の課題設定に基づき、計画を立て、制作を繰り返すことで実践的な即 戦力となる技術を獲得することができ る。	92.1	制作物の制作過程を記録に残す。	95.0	プレゼンテーションをすることができ る。	93.6			93.6	4.0
9	卒業研究・卒業制作 （造園緑化コース）	必修	課題解決		相田	8	課題に取り組み、解決を図る。	88.8	その過程や結果について記録を残す。	86.3	プレゼンテーションをすることができ る。	88.8			87.9	3.0

分野別授業の実施状況

資料 4-①

授業名：「卒業研究・卒業制作（花き生産コース）」

	R 4 年度	R 5 年度
科目名	卒業研究・卒業制作Ⅱ (花き生産コース)	卒業研究・卒業制作 (花き生産コース)
履修区分 (受講人数)	必修 (4 名)	必修 (5 名)
開講時期	2 年・後期	2 年・後期
時間数	270 時間	240 時間
担当教員	白田・井上・前田	白田・井上・前田

[授業の目的]

学生が現場の課題に直結したテーマを取り上げ、企業などと連携して調査研究に取り組むことで、課題解決力の向上を図る。

[授業の内容]

学生①のテーマ「生分解性ポットのこれから」

微生物によって水と CO₂ に分解される生分解性ポットを開発した企業と連携して、分解速度と積算日射量および積算温度の関係性をさらに検証した。

連携先：株式会社東海化成



分解速度と環境の関係を調査分析 生分解性ポット苗物の試験販売 株式会社東海化成へ研究結果報告

学生②のテーマ「自動灌水制御装置の活用に向けた研究」

日射比例制御を行う灌水機器を導入し積算日射量に応じた灌水管理を行うため、培養土が乾燥するまでの積算日射量の値をデータ化し、積算日射量による灌水の自動制御方法の構築を試みた。

連携先：岐阜県農業協同組合中央会



培養土からの水分消失量を調査



植物体のしおれと積算日射量の間を調査

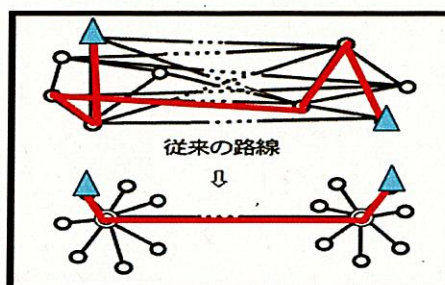
学生③のテーマ「花き業界の物流 2024 年問題に関する考察」

インターンシップを通じて感じた花き物流業界の 2024 問題について考え、その解決策を考察した。

連携先：岐阜生花市場協同組合、有限会社大野園芸



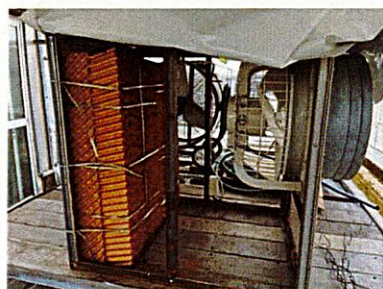
有限会社大野園芸の物流拠点



花き物流問題の解決策提案

学生④のテーマ「ダクト式パッドアンドファンの降温効果及びユーストマの品質に与える影響Ⅱ」

施設園芸の暑熱対策が課題となるなか、岐阜大学嶋津教授からアドバイスを頂き、簡易式パッドアンドファン改良による降温効果と品質向上を実証した。 連携先：岐阜大学応用生物科学部 嶋津教授



冷却パッドの二重化改良



栽培試験の様子



岐阜県域農林業教育システム研究
発表交流会に参加

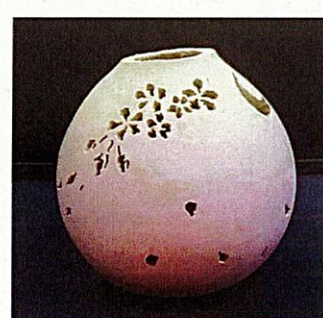
学生⑤のテーマ「クロス SWOT 分析によるひょうたんの商品開発」

伝統工芸品であるひょうたんの商品性を高めるため、SWOT 分析手法を用いて分析し、商品開発に取り組んだ。

連携先：安田ひょうたん店

クロスSWOT分析			
強み (S)	弱み (W)	機会 (O)	脅威 (T)
- Q1: 同じものがいい - Q2: 歴史がある - Q3: 伝統性がある - Q4: 地域人が多く利用 - Q5: 季節に合う - Q6: 競争力が強い	- Q7: 価格が高い - Q8: 生産量が少ない - Q9: 技術継承が難しい - Q10: 市場が狭い - Q11: 需要が減少している - Q12: 競争力が弱い	- Q13: 観光客の増加 - Q14: 伝統工芸品の人気 - Q15: 地域活性化の推進 - Q16: 伝統工芸品の価値の向上 - Q17: 伝統工芸品の認知度の向上 - Q18: 伝統工芸品の販売の拡大	- Q19: 伝統工芸品の価値の低下 - Q20: 伝統工芸品の認知度の低下 - Q21: 伝統工芸品の販売の減少 - Q22: 伝統工芸品の競争力の低下 - Q23: 伝統工芸品の市場の縮小 - Q24: 伝統工芸品の価値の低下

ひょうたんの SWOT 分析



ひょうたんの商品提案

[授業の効果等]

自らテーマを見つけ、課題解決に取り組む事で、社会で求められる実践力の育成を図る事ができた。

学生からも「調査結果を記録し、それをまとめて論文にしたり発表したりと大変ではありましたが就職してからまとめて説明する能力は必要となるので、そういった点でとても勉強になりました。」という声がありました。

分野別授業の実施状況

資料 4-②

授業名：「卒業研究・卒業制作（花き装飾コース）」

	R 4 年度	R 5 年度
科目名	卒業研究・卒業制作Ⅱ (花き装飾コース)	卒業研究・卒業制作 (花き装飾コース)
履修区分 (受講人数)	必修 (10名)	必修 (7名)
開講時期	2 年・後期	2 年・後期
時間数	270 時間	240 時間
担当教員	吉田・林	吉田・林

[授業の目的]

今まで学んできたことやインターンシップの体験から、各々、利点を伸ばし弱点を見つけ、卒業するまでに何を習得すべきなのかを課題を設定し、何をどのように学ばなければならないかを計画を立て実践することによって、職業園芸人となるべき技術を身につけることを目的とする。

[授業の内容]

学生①のテーマ「技能五輪全国大会出場と The Oshibana」

フローリスト技術向上のため技能五輪全国大会出場に出場し、「花束」「アレンジメント」「テーブルディスプレイ」「サプライズ」の4課題に取り組んだ。また、就職先で求められる押花技術向上を目的として押花制作にも取り組んだ。



学生②のテーマ「Kuni's collection」

イメージに合わせて色や花材をチョイスし花束の制作に取り組み、イメージを形にできる方法を学んだ。



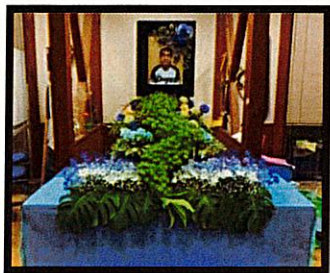
学生③のテーマ「花と色」

花材の組み合わせや色合わせを通して花束技術を向上させ、フローリストとして必要な技術を習得した。



学生④のテーマ「葬儀装飾から学ぶ花の魅せ方」

就職先で求められる祭壇制作や供花・枕花制作に取り組み、葬儀装飾技術を向上させた。



学生⑤のテーマ「ささめごと」

オリジナルストーリーを作り、ストーリーに合わせた花束の制作に取り組み、創造力を向上させた。



学生⑥のテーマ「My Anthology」

自分の作品集を制作するため技能五輪全国大会出場の4作品に加え、可茂総合庁舎のディスプレイ、アクティブGの花飾りに取り組み、作品集を完成させた。



学生⑦のテーマ「花束とラッピングの技術向上」

少しでも早く就職先で力になれるよう花束とラッピングに取り組み、フローリストとしての技術を向上させた。



[授業の効果等]

今まで学んできた花き装飾の集大成として、各自でそれぞれ「花束制作」「アレンジメント制作」「ディスプレイ制作」「葬儀装飾」「押花」などの課題に取り組みながら実践的な技術を身につけ、課題解決能力の向上を図ることができた。

分野別授業の実施状況

資料4-③

授業名：「卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）」

	R4年度	R5年度
科目名	卒業研究・卒業制作Ⅱ (造園緑化コース)	卒業研究・卒業制作 (造園緑化コース)
履修区分(受講人数)	必修(6名)	必修(7名)
開講時期	2年・後期	2年・後期
時間数	270時間	240時間
担当教員	相田・新井	相田・新井

[授業の目的]

本科目では、2年生前期までに学んだ知識と技術の集大成として、グループ課題と個人課題に取り組むことにより、課題解決能力の向上を図る。

[授業の内容]

1. グループ課題 (44 時間)

ぎふワールド・ローズガーデンの本学の実習フィールドにおいて小庭園を制作して6年目になる。令和5年度は前期授業の継続として「人と自然の共生」をタイトルとした作品を完成させた。井戸をイメージした植栽枠に景石と植栽を配し、周囲は石張りの舗装として、植栽枠に腰掛けて休みながら庭を眺めることもできる作品である。

<デザインコンセプト>

「里山の古き良き暮らしと、生物多様性をコンセプトにデザインしました。里山の『生物多様性』を、動物や植物が安定して生活できる生息空間であるビオトープを用いて表現しています。ビオトープは『bio (命)』と『topos (場所)』を組み合わせた言葉です。森・海・池など空間の大小に関わらず、多様な生物が生活できる場所を指します。また、伝統的な日本家屋にある囲炉裏を『里山の暮らし』を形づくる1つの要素であると考え、デザインに取り入れています。」



(写真) 卒業研究・卒業制作 グループ課題

2. 個人課題（196 時間）

（表）個人課題一覧

執筆者	テーマ	指導教官
学生①	岐阜県美濃加茂市・旧櫻井邸庭園の改修計画	相田
学生②	三度目の正直～技能五輪への出場～	新井
学生③	トピアリーの歴史とトピアリーガーデンの設計・施工	相田
学生④	東日本大震災「奇跡の一本松」の高田松原を守る会の活動について	相田
学生⑤	卒業制作エントランスガーデンの改修	相田
学生⑥	岐阜県における日本庭園の保全	相田
学生⑦	念ずれば花ひらく～技能五輪への挑戦～	新井
学生⑧	個人庭園設計「四季の色と香り」	相田

〔授業の効果等〕

1. グループ課題

小さな作品であるが、学生は計画、設計、施工といった造園の仕事の流れを理解することができた。また、ひとつの作品をグループで完成させることにより、協調性、周囲への配慮を養うことができた。

なお、この作品は第 50 回全国造園デザインコンクール（日本造園建設業協会）の実習作品に応募した。

また、令和 6 年度には、ぎふワールド・ローズガーデン内の花トピアを改修して販売・展示スペースや研修室、更衣室・シャワー室を整備した国際園芸アカデミー実践教育フィールドを開設し、より実践的な学習を進めていく予定である。

2. 個人課題

個人課題は基本的に学生の興味・関心によりテーマを決定している。その結果、造園の教科書の目次立てのように、造園を網羅的に様々な側面からとらえる課題となった。

本学と美濃加茂市との連携・協力協定により美濃加茂市から話を頂いた「岐阜県美濃加茂市・旧櫻井邸庭園の改修計画」は、旧家の建物改修に伴い、庭園の改修計画の依頼がきっかけである。「三度目の正直～技能五輪への出場～」と「念ずれば花ひらく～技能五輪への挑戦～」は、第 61 回技能五輪全国大会（愛知県で開催）に出場した結果（敢闘賞受賞）について、その練習と当日の競技について述べたものである。学内の庭園を再整備した「トピアリーの歴史とトピアリーガーデンの設計・施工」と「卒業制作エントランスガーデンの改修」は、現在、わが国では新規に造園空間を整備するより、再整備する需要が高いことに注目した卒業研究・卒業制作である。なお、トピアリーとは動物や幾何学的なかたちに樹木を刈り込んだものである。「東日本大震災『奇跡の一本松』の高田松原を守る会の活動について」は、インターンシップで知った造園の新たな仕事や造園の持つ防災的側面について気づいたものである。「岐阜県における日本庭園の保全」は県内の日本庭園の価値を再発見するものである。「個人庭園設計『四季の色と香り』」は実家の庭を題材に現実的な庭園の設計ができた。

卒業研究・卒業制作の個人課題は、自分の考えを文章としてまとめ、発表するまたとない機会となった。

授業時間の削減（30 時間）の影響として、課題設定の時間を多く取ることができなかったものの、各学生が持つ課題解決能力の向上を図ることができた。

分野別授業の実施状況

資料 4-④

授業名：「植物ビジネス論」

	R 4 年度	R 5 年度
科目名	—	植物ビジネス論
履修区分 (受講人数)	—	選択 (9 名)
開講時期	—	2 年・後期
時間数	—	30 時間
担当教員	—	井上

[授業の目的]

2 年後期は、今まで学習してきた様々な事を土台にさらに高みを目指していく時期でもある。本科目は卒業後に学生が大きく飛躍できるように、担当教員がそれぞれの分野で、卒業するまでに学生に聞かせたい・知ってもらいたい内容を厳選し、その分野でオーソリティーやパオイオニアとして活躍する業界人（ビジネスパーソン）を講師に迎え、講演をオムニバス形式で行うものである。

[授業の内容]

日程	タイトル	講師
11 月 8 日	オリジナル品種を核とした経営展開と今後の展望	矢祭園芸 代表取締役 金澤美浩
12 月 6 日	ガーデンミュージアム花遊庭 開園の目的	株豊田ガーデン 代表取締役 天野勝美
12 月 13 日	園芸業界を元気にする花き生産ビジネス	横山園芸 代表 横山直樹
12 月 13 日	洋ランの現在、過去、そして未来	元愛知教育大学 教授 市橋正一
1 月 15 日	造園の仕事に就くあなたが、学生にうちに学んでおくべきこと	西日本短期大学 緑地環境学科長 西川真水
1 月 16 日	欧州、フィンランドのフラワーデザイン	LINOKA kukka 代表 ヘンティネン クミ
1 月 17 日	中国の造園ビジネス、現状と今後の展望	嘉兴树艺园林有限公司 设计总监（設計主事）田中修一

[授業の効果等]

各業界の著名な外部講師としてお招きすることにより、普段は聞くことができない様々な最新の情報に触れることができた。学生アンケートにおいても「様々な講師の方からたくさんの知識を学ばせてもらった。」「専門家の方と会って話して成功の要因など知ることができた。」といった意見があり、活発な質問や議論があったことが伺える。教員からは「1 年生にも受講させたい。」といった意見もあったことから、令和 6 年度からは 1 年生も聴講することができるよう時間割を作成した。

【次ページでは「植物ビジネス論」の事例としてそのうちの一コマを取り上げる】

【中国の造園ビジネス、現状と今後の展望】 田中修一氏講義

講義概要

I. 中国について *社会、政治、市民、日本の対中イメージ



- ✓ 政治的緊張、著作権の侵害
- ✓ 都市部と農村部の発展プロセスについて
- ✓ 上海と日本都市（東京・大阪・岐阜）の規模比較
- ✓ 日本より進んでいる（特に金融・流通）IT化

II. 中国の造園ビジネス、現状と今後の展望 *講義主題



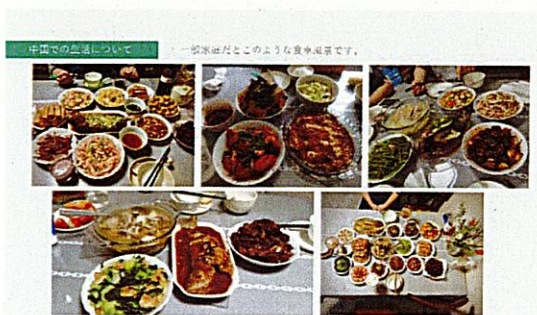
- ✓ 現在の中国で求められる庭のスタイル
- ✓ 大まかに6のカテゴリー（①現代中国式、②新中国式、③古典中国式、④日本式、⑤欧風式、⑥マッシュアップ）で認識
- ✓ 顧客の目も肥えて来ており、要望は細分化

III. 弊社の参加プロジェクトについて *田中氏が経営する企業



- ✓ 中国全土でビジネス（所在地は浙江省嘉興市）
- ✓ コンサルティング、設計施工管理、講師
- ✓ 造園工事、園芸装飾
- ✓ 個人邸（庭）から大規模公園、規模は問わず

IV. 中国での生活について *田中氏自らの経験を主に



- ✓ 広い国土、地域による違い
- ✓ 日本と変わらないチェーン店舗の展開
- ✓ 日本食レストランの多さ

国際園芸アカデミー実践教育フィールドの開設について

1 目的

社会性と職業意識を身につけた即戦力となる人材を育成する教育環境を整備するため、ぎふワールド・ローズガーデンの花トピアを改修し、実践教育を拡充する。

- 学生の作品の展示・販売ができる直売所・交流施設の整備
- 実習フィールドに付帯する座学が行える実習棟の整備

2 経緯

R 2：国際園芸アカデミー有識者会議が、ぎふワールド・ローズガーデンに実践教育の実施に向けたサテライト施設の開設を提言

R 3：基本構想の策定

R 4：施設基本設計・実施設計

R 5：施設工事の実施（62,064千円）

R 6：4月24日(水)

有識者会議委員等を招待して実践教育フィールドの開設披露会を開催

<披露会での国際園芸アカデミーの取組>

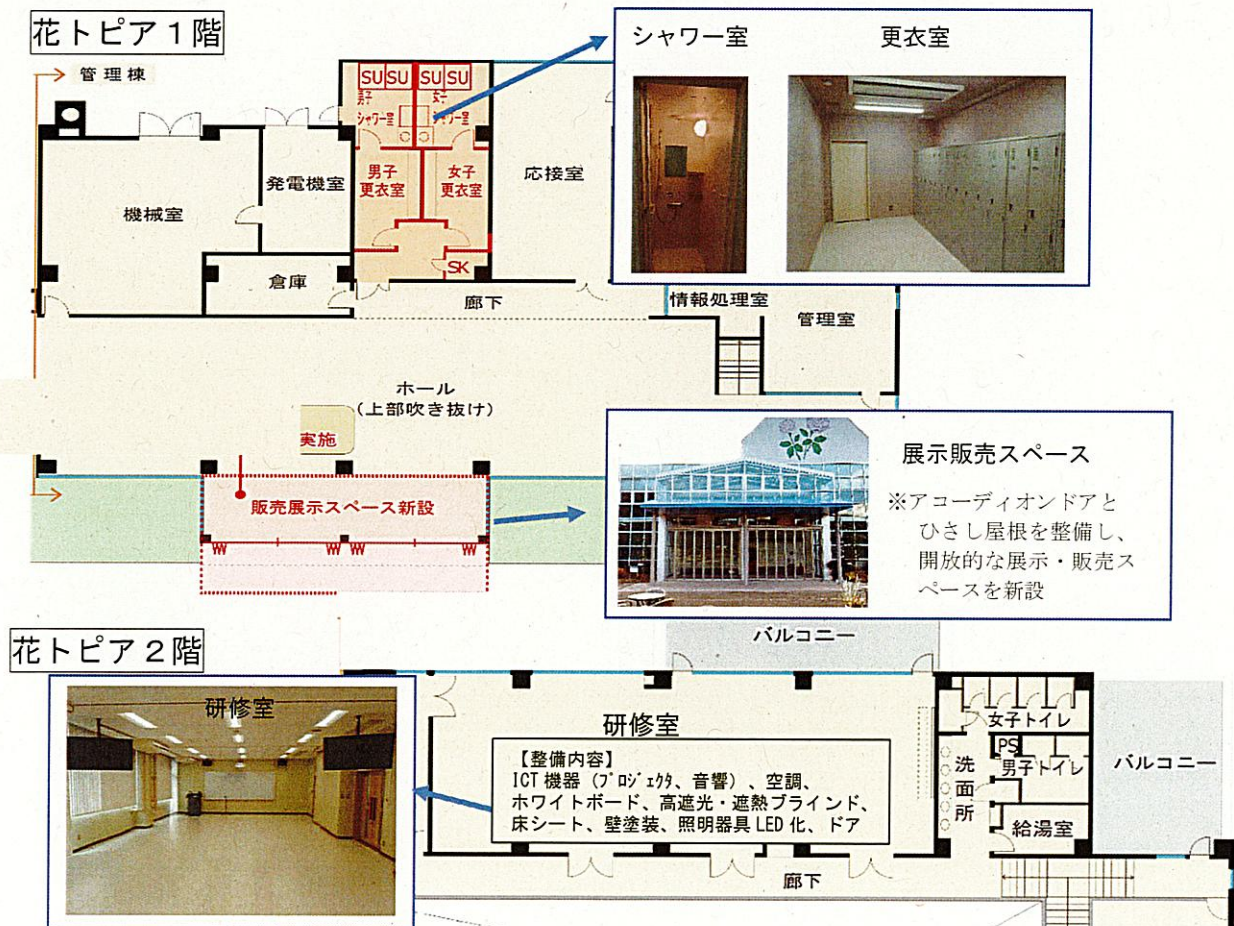
花き生産コース：鉢花や花苗の販売を実施

花き装飾コース：店づくりをイメージしたディスプレイと花束づくり実施

造園緑化コース：実習フィールドに制作した庭の紹介

3 整備概要

既存公園施設（花トピア）を改修し、①販売・展示スペース、②ICT機器等を備えた研修室、③更衣室・シャワー室を整備。



令和6年度 ぎふワールド・ローズガーデンを活用した授業について

資料5-②

使用日		授業科目名	担当 教員	対象	計画	利用授 業時数	展示時 間数※	使用場所				備考
								花トピア 研修室	花トピア 販売展示 1A・1F	温室	実習 フィールド	
2024/4/3	(水)	盆栽実習	相田	2年選択者18名	8	8		○		○		
2024/4/4	(木)	盆栽実習	相田	2年選択者18名	7	7		○		○		
2024/4/5～ 4/7		盆栽実習	相田	2年選択者18名			24		○			盆栽作品展示
2024/4/15	(月)	園芸装飾実習Ⅰ	吉田	1年20名	4	4		○				園内の視察
2024/4/15	(月)	造園施工・管理実習Ⅲ	新井	2年選択者7名	4	4					○	
2024/4/17	(水)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者11名	4	4					○	
2024/4/19	(金)	フラワー装飾演習	林	2年装飾12名		4		○	○			
2024/4/22	(月)	装飾技術スキルアップ実習	吉田	2年装飾12名		4			○			
2024/4/23	(火)	生産マネージメント実習Ⅰ	臼田	2年生産3名		4			○			披露会展示販売準備
		装飾技術スキルアップ実習	吉田	2年装飾2名		4			○			披露会展示販売準備
2024/4/24	(水)	生産課題解決演習	臼田	2年生産3名	8	8			○			披露会展示販売
		フラワー装飾演習	林	2年装飾12名		2			○			披露会展示
2024/5/8	(水)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者11名	8	8		○			○	
2024/5/24	(金)	基礎育種学	前田	2年選択者11名	4	4		○				
2024/5/31	(金)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者11名	6	4					○	
2024/6/19	(水)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者11名	4	6		○			○	
2024/6/17 ～6/26		フラワー装飾演習	林	2年装飾12名	16		72		○			制作作品展示9日間
2024/6/26 ～7/3		フラワーデザイン実習Ⅰ	林	1年20名	32		56		○			制作作品展示7日間
2024/7/16	(火)	栽培・生産論	臼田	1年20名	4	4		○				
2024/7月		フラワーデザイン実習Ⅰ	林	1年20名	24		24		○			制作作品展示3日間
2024/5月		造園総合実習	新井		4							
2024/9/6	(金)	造園総合実習	新井	2年造園緑化コース7名	8	8		○			○	
2024/9/10	(火)	造園総合実習	新井	2年造園緑化コース7名	8	8		○			○	
2024/9/13	(金)	造園総合実習	新井	2年造園緑化コース7名	8	8		○			○	
2024/9/18	(水)	花修景実習Ⅲ	新井	2年造園緑化コース7名	8	8		○			○	
2024/9/20	(金)	造園総合実習	新井	2年造園緑化コース7名	8	6		○			○	
2024/9/24	(火)	造園総合実習	新井	2年造園緑化コース7名	8	8		○			○	
2024/9月	(金)	ウェディング実習	林	2年装飾12名	16		16		○			制作作品展示2日間
2024/10/2	(水)	造園施工・管理実習Ⅱ	新井	1年選択者	4	4					○	
2024/10/22	(火)	花修景実習Ⅱ	新井 (相田)	1年20名	4	4		○			○	
2024/10/26 2024/10/27	(土) (日)	イベント販売実習	前田	1年20名	8	8						場所については未定（例年は 雅周辺の芝生広場）
2024/10/26 2024/10/27	(土) (日)	卒業研究・卒業制作（花き生産コース）	臼田	2年生産コース3名	8	8						
2024/10月		フラワーデザイン実習Ⅱ	林	1年選択者	24		24		○			制作作品展示3日間
2024/11月中旬 ～12月上旬		卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	相田	2年造園緑化コース	44	44						44コマ実施予定
2024/12/4	(水)	花修景実習Ⅱ	新井 (相田)	1年20名	8	8		○			○	
2024/12/19	(木)	造園施工・管理実習Ⅱ	新井	2年選択者	4	4					○	
2024/12月		フラワーデザイン実習Ⅱ	林	1年選択者	32		32		○			制作作品展示4日間
2024/12月		卒業研究・卒業制作（花き装飾コース）	吉田	2年装飾コース	32		32					制作作品展示4日間

計 369 205 280 ※展示1日＝8時間とする

WRG利用時間数 合計 485

生涯学習講座		担当 教員	対象	計画	利用授 業時数	花トピア 研修室	花トピア 研修室	花トピア 展示室 1A・1F	温室	実習 フィールド	備考
2024/8/7	(水)	【親子限定】親子で楽しく！ 多肉植物のアレンジメントづくり	教務課 吉田	20名（子供の人数）	2			○			
2024/8/7	(水)	オトナの多肉植物講座 多肉植物のアレンジメントづくり	教務課 吉田	20名	2			○			

合計 4

花と緑の連携授業		計画	利用授 業時数	花トピア 研修室	花トピア 研修室	花トピア 展示室 1A・1F	温室	実習 フィールド	備考
2024/6/26	(水)	季節の花を使ったアレンジメント	林	即上高等学校園芸科学科2年20名	4		○		アレンジメント制作

合計 4

	資格	知識	人間性	能力
花き生産	運転免許 フォークリフト 大型特殊 園芸装飾技能士 土壌医	植物に関する基礎知識 異常を見つける観察力 植物や肥料、薬品の知識	意欲的、向上心 人の話に耳を傾けられる人 仕事に対して真摯である人 花の事を第一に考えられる お客様の事を想像できる ともに働く人の事を想像できる 自分で考え行動できる	コミュニケーション力 問題解決能力
生花園芸店・装飾	フラワー装飾技能士 園芸装飾技能士 色彩検定 ハンギングマスター 運転免許	花の知識 肥料・農薬	意欲的・積極性 花が好き、笑顔 挨拶ができる方、元気な方 明るくポジティブ 積極性、柔軟性、協調性 素直さ、努力、やる気、 言葉遣い、清潔感 向上心・探求心を持ち続ける人 臨機応変に対応できる 心身共に健康・体力がある	コミュニケーション力 花束・アレンジが制作できる 接客力、電話対応力 SNS発信力 パソコン イラストレーターやフォト ショップ いけばな
造園設計・施工 公園	造園技能士 造園施工管理技士 土木施工管理士 測量士補 公園管理運営士 園芸装飾技能士 樹木医、街路樹剪定士 小型クレーン 小型車両系建設機械 刈払い機、高所作業車 玉掛、チェーンソー グリーンアドバイザー エクステリアプランナー 運転免許(MT)	植物に関する知識 土木の知識 建築の知識 エクステリアの知識 樹木の名前 都市公園の知識 都市公園法についての基礎	あいさつ、礼儀 意欲的、積極性、協調性 努力、考えて行動、素直さ 一般常識が身についている人 前向きで仲間を大切にする人 互いを尊重し助け合える人 道具を大切にする 自分の意見をしっかり伝えられる人 公園の魅力を伝えられる人 新しいことに挑戦できる人 職人としての自覚 考える力を備えた人 人の話に耳を傾けられる人	コミュニケーション力 CAD

学校への意見・要望	学校の対応
・やる気のある人材を紹介してほしい ・生産に携わりたい優秀な人材を紹介してほしい ・学生に対し個人面談等でできれば仕事内容のギャップを感じてもらえると思う ・学生自身のポートフォリオなどで自己アピールすることも良い。学生の経験やスキル、将来の夢や目標、人となりを事前に把握でき、研修内容のプログラムにも役立つ。先生から学生の具体的情報（特性や技能、長所）をいただければ、より学生にあった研修プログラムにつながっていく	・インターンシップ実施前に、学生の自己紹介書（略歴や将来の夢・目標）等を企業様にお渡しするとともに、担当教員より学生の特性や技能、長所等の情報共有に努めます。
・間近な要請では対応ができないので早めの連絡をお願いします ・継続的にインターンシップを要望したい ・仕事の面白さを伝えることが大切。インターンシップを学業に取り入れることは非常に有益だと感じるので続けてほしい	・インターンシップは今後の進路や職業選択につながる大切な授業科目です。引き続き企業様にはご協力をお願いしたいと考えます。
・社会で即戦力となる多くの人材育成をお願いしたい ・卒業生や生徒は明るく前向きに取り組める人材が多くいると感じる ・技能、知識など丁寧に指導いただいているが、健康面、体調管理の面でマイナスになっている ・やる気のある人は、社会に出て技術技能が早く身につきます	・インターンシップ受入企業様や教育課程編成委員会等機会をとらえて各業界のご意見をいただき、教育課程を見直ししながら、人材育成教育に引き続き取り組んでいきます。
・花に特化している学校は非常に少ない。アカデミーを知っている人も少ない。もっとアピールすることで認知度を上げることで、生花業界の人材育成につながると感じる	・より多くの方々に国際園芸アカデミーを知っていただくため、高校ガイダンスやHP、SNS、連携協定市町・企業などを通じて、学校のPRに努めます。